

H26年度 学校教育自己診断の結果について

生徒（1年：278名、2年：206名、3年225名）

①本年度の状況

- 全般的には、下記の項目を除いて肯定的な意見（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の項目を合わせた割合）は、約60～70%で推移している。
- 全般的な満足度は、学年進行とともに肯定的な意見が向上している。
（全項目の平均値 1年：60%、2年：62%、3年：66%）

【肯定的な意見が低かった項目】

- ・ 4 担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる
（1年：37%、2年：43%、3年：53%）
 - ・ 2 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。（1年生は56%にとどまっている）
 - ・ 5 学校生活についての先生の指導は納得できる（1年生は51%にとどまっている。）
- 昨年度との比較では、肯定的な意見は、昨年度に比べて全般的に下がっている。

【全項目の平均値の比較 25年⇒26年】

1年：67%⇒60%、2年：68%⇒62%、3年：71%⇒66%

保護者（197名）

- 全般的に高い評価となっている。肯定的な意見は、全項目の平均で79%になっている。
昨年度と比較しても満足度は、向上している。（25年：71%⇒26年：79%）
- 肯定的な意見が特に多かった（85%以上）ものは、次の項目である。
 - ・ 3 学校は、保護者の相談に適切に応じている
 - ・ 4 学校の生徒指導の方針は共感できる
 - ・ 5 学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導をおこなっている
 - ・ 6 学校は、子供に生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている
- 肯定的な意見が少ない項目は、次の項目である。
 - ・ 2 子供は、授業が楽しくわかりやすいと言っている（25年：50%⇒26年：66%）
 - ・ 8 この学校の授業見学や学校行事に参加したことがある（25年：51%⇒26年：60%）

教員（46名）

- 回答数は増加しているが、在籍者の半数程度しか回答していない。（昨年度：29名）
- 肯定的な意見は、比較的低位全項目の平均で63%になっている。（昨年度：71%）
- 肯定的な意見が多いのは、以下の項目
 - ・ 1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている
- 肯定的な意見が少ないのは、次の項目
 - ・ 3 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導をおこなっている
 - ・ 5 教育相談体制は整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる
 - ・ 6 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善をおこなっている
- 教員の結果は、生徒対応や魅力ある学校づくりの面で多くの課題があることを認識しており、教員間で連携を取ろうという意識が見られる。